

9月会議補正

一般会計 3億5,766万円の増

防災・減災対策に重点

9月会議では平成30年度各種会計決算のほか、令和元年度各種会計補正予算、人事案件、条例改正などの15件が提案され、審議の結果全て原案どおり同意、可決しました。

議案第26号

避難所の充実へ

指定避難所である、船岡体育館に授乳室を設置するほか、農村環境改善センター、西住公民館、船岡体育館、船岡小学校体育館のトイレの洋式化に取り組みます。

消防車両の更新

小型消防ポンプ付き積載車を購入します。



地域防災にかかせない消防車

首都圏へPR強化

質疑 ふるさと柴田寄付金広告料について首都圏向けとあるが、どのように取り組むのか。

答弁 さらになる効果を期待し、新聞広告を予定している。今回は、1ページを使い広告する。また、鉄道車内の情報誌に本町の情報を掲載する予定。

昇降機の更新は

質疑 船岡駅コミュニティプラザに設置してある昇降機は、どのような修理をするのか。

答弁 2階の改札口から自由通路に上る階段にある車椅子用の簡易昇降機を更新する。設置から30年が経過し、老朽化のため新しい機器を設置することで、利便性の向上を図る。

図書館児童コーナー拡充

質疑 改修工事の詳細は。

答弁 施工内容は、バックヤード・児童コーナー・閉架書庫などを変更し、子どもコーナー、バックヤードの面積を増やす。また、環境改善のため、換気扇やLED照明を設置する。

柴田球場の改修

質疑 柴田球場バックスクリーン及びスコアボード塗装改修の他にどんな工事になるか。

答弁 バックネットの張り替えと防球ネットを新設する工事となる。

一般会計の補正による主な内容と予算額

主な事業	予算額
幼児保育無償化による私立保育園等の施設等利用給付金	8,705万円
仮称しばたペンギン国際幼児園進入路整備/農道葉坂9号/成田1号整備	2,269万円
町道船迫30号線/町道槻木76号線道路維持改修工事	1,158万円
四日市場排水機場遊水池浚渫工事	665万円
船岡生涯学習センター駐車場舗装工事	528万円
スクールゾーン内危険ブロック塀等除去事業補助	147万円

令和元年度補正予算（9月会議）

会計区分	補正額	補正後の額	
一般会計	3億5,766万円	133億2,375万円	
特別会計	国民健康保険事業	740万円	40億1,176万円
	公共下水道事業	1,193万円	16億3,083万円
	介護保険	9,163万円	30億6,485万円
	後期高齢者医療	344万円	3億9,311万円

勉強しやすい
環境づくり

いよいよ始まる

東船岡小学校大規模改造

総額 3億2,142万円



東船岡小学校



東船岡小学校体育館

質疑 足場を組むようになるが、子どもたちの安全対策は。
答弁 学校を取り囲むように足場を組むので、児童の安全対策もしっかり取り組む。

答弁 体育館の床に関しては、研磨だけでなく、床鳴りなど改修してからラインの引き直しをする。

質疑 東船岡小学校体育館の床を削る工事があがるが、削った後に再度ウレタン塗装をするのか。
答弁 東船岡小学校体育館の床を削る工事があがるが、削った後に再度ウレタン塗装をするのか。

議案24号・25号
質疑 東船岡小学校には空き教室はないが、工事スケジュールは大丈夫か。
答弁 教室の脇、廊下、フリースペースもあるので、教室として仕切れる工事もできる。学校と詳細なスケジュールを検討する。



船迫中学校武道館



槻木中学校体育館

船岡小学校・槻木小学校・柴田小学校・槻木中学校・船迫中学校体育館の照明器具更新の他、船岡中学校と船迫中学校武道館のトイレ洋式化が追加されました。

さらに防災機能を強化

10月会議

10月会議が、10月16日に開催されました。一般会計補正予算で1億3千545万円追加し、総額13億5千920万円となりました。原案のとおり全会一致で可決しました。

人事案件

議案17号・18号

- 教育委員会教育長の任命に同意
船迫 邦則氏(再任) 西船迫二丁目
- 教育委員会委員の任命に同意
庄司 洋子氏(再任) 下名生字八剣

本会議出欠状況・議案などの審議結果

●本会議出欠状況及び審議結果一覧（9月・10月会議）

区分	主な内容及び件名	月日	出席者数	賛成	反対	議決結果	森	加藤	安藤	平間	桜場	吉田	秋本	齋藤	平間	佐々木	安部	森	広沢	有賀	舟山	白内	水戸	高橋
							裕樹	滋	義憲	幸弘	政行	和夫	好則	義勝	奈緒美	木裕子	俊三	淑子	真	光子	彰	恵美子	義裕	たい子
本会議	町政報告、議案説明	9.2	18				○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	一般質問	9.3	18				○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	一般質問	9.4	18				○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	一般質問、議案審議（人事案件、条例案件、契約案件）	9.5	18				○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	議案審議（補正予算）、平成30年度各種決算上程・総括質疑	9.6	18				○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	平成30年度決算認定採決	9.17	18				○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	議案審議（補正予算）	10.16	18				○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	

※「○」は出席、「欠」は欠席、「早」は早退、「遅」は遅参を表す。

審議結果	議案第17号、第18号	9.5	18	17	0	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議
	議案第19号～第25号	9.5	18	17	0	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議
	議案第26号～第31号	9.6	18	17	0	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議
	決議案第1号	9.17	18	17	0	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議
	議案第32号	10.16	18	17	0	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議

※「○」は賛成、「否」は賛成しないことを表す。 ※「議」は表決時に議長のため、また、「-」は議場にいないため表決に参加していないことを表す。

○議案等の内容（令和元年度柴田町議会9月会議）

件名	
議案第17号	教育委員会教育長の任命 17ページに掲載
議案第18号	教育委員会委員の任命 17ページに掲載
議案第19号	柴田町印鑑の登録及び証明に関する条例の一部改正 ・主な改正の内容は、印鑑登録証明書等の記載事項に「旧氏」を加えるもの。併せて性的マイノリティー（LGBT）の方に配慮するため、印鑑登録証明書から性別表記を削除するもの。
議案第20号	柴田町町税条例等の一部を改正する条例の一部改正 ・軽自動車税の環境性能割について減免規程、非課税範囲の特例規程及び減免の特例規程を整備するもの。
議案第21号	柴田町放課後児童健全育成事業の整備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正 ・主な改正の内容は、放課後児童支援員の認定資格である研修の実施主体に指定都市の長を加えるもの。
議案第22号	令和元年度柴田町公共下水道事業三名生汚水幹線工事請負契約
議案第23号	令和元年度柴田町・大河原町公共下水道事業鷺沼1号雨水幹線工事請負契約
議案第24号	令和元年度東船岡小学校大規模改造工事（建築工事）（債務負担行為）請負契約
議案第25号	令和元年度東船岡小学校大規模改造工事（機械設備工事）（債務負担行為）請負契約 17ページに掲載
議案第26号	令和元年度柴田町一般会計補正予算 ・3億5,766万4千円増 16ページに掲載
議案第27号	令和元年度柴田町国民健康保険事業特別会計補正予算 ・739万8千円増 30年度決算による繰越金の増額
議案第28号	令和元年度柴田町公共下水道事業特別会計補正予算 ・1,192万5千円増 主なものは家屋補償や鷺沼排水区整備事業に要する経費。
議案第29号	令和元年度柴田町介護保険特別会計補正予算 ・9,162万6千円の増
議案第30号	令和元年度柴田町後期高齢者医療特別会計補正予算 ・343万7千円の増
議案第31号	令和元年度柴田町水道事業会計補正予算 ・人事異動に伴う人件費、葉坂農地ほ場整備事業に伴う水道本管移設工事負担金及び工事請負費の補正。
決議案第1号	平成30年度柴田町一般会計歳入歳出決算の認定についてに対する附帯決議。
議案第32号	令和元年度柴田町一般会計補正予算 134億5,919万5千円の増 17ページに掲載

町政へのあなたの思い

質問 質問 質問 質問 質問 ママタタ!

【目次】

ページ	質問者 (登壇順)	質問項目
17	吉田 和夫	新しいハザードマップの配布は
18	平間奈緒美	スポーツ実施率向上の取り組みは
	舟山 彰	中学校部活動方針の活用はいかに
19	森 淑子	公園施設の充実を
	加藤 滋	地域コミュニティの活性化は
20	斎藤 義勝	警戒レベル情報はピンポイントで
	秋本 好則	交流人口増加の手段に柴田ファンクラブの創設を
21	佐々木裕子	「おもてなしの心」から、トイレなどの設置を
	白内恵美子	公共施設の電力調達は、一般競争入札の実施を
22	安部 俊三	柴田小学校は、槻木小学校との統合を検討すべき
	森 裕樹	本町の歯科口腔保健の取り組みは
23	広沢 真	幼児教育の無償化で待機児童は減少するか
	有賀 光子	産後ケア事業の推進を
24	安藤 義憲	登下校時の道路の安全対策は

一般質問は9月3日から5日までの3日間で、14人の議員が質問し、項目は24件でした。質問と答弁の内容について、その一部を掲載します。

答弁者は、滝口町長、船迫教育長及び各担当課長等です。

その他の質問は24ページに掲載しています。



吉田和夫 議員

Q 新しいハザードマップの配布は



A 年度末までに全戸配布する



「逃げ遅れゼロ」に向けた取り組みを!!

問 新しいハザードマップの配布予定は。
町長 新たな防災マップには浸水する地域とその深さ、早期避難が必要な区域、土砂災害危険箇所、またそれぞれの災害に応じた避難所や避難場所などを記載し、年度末までに全戸配布する。
問 マイ・タイムライン(防災行動計画)を推進しては。
町長 マイ・タイムラインの有効性や必要性について周知を図るとも

に、防災訓練や出前講座において、タイムラインの作成を訓練の一つとして実施するよう積極的に取り組んでいく。
問 西船迫地区には土石流危険箇所、急傾斜地崩壊危険箇所があるが、前回の説明会から5年が経過している。県に再度開催を促すべきでは。
町長 県に確認したところ、土砂災害や急傾斜地崩壊危険箇所の内容について、出前講座でよければ開催できると回答を得

ている。町としては、ハザードマップ配布後に住民説明会を開催し、説明する。
問 防災士養成の進捗状況と今後の課題は。
町長 8月1日現在で6人が受講し、防災士の資格を取得している。今後も、自主防災組織の防災力を強化するよう、まだ推薦書が提出されていない行政区には、地域防災のリーダーとなる人材を推薦するよう働きかけていく。



平間奈緒美 議員

Q スポーツ実施率向上の取り組みは

A 連携した取り組みを強化する



さわやかな汗 流しませんか？

問 スポーツ実施率向上への取り組みは。

教育長 総合型地域スポーツクラブや仙台大学などと連携した取り組みを強化し、スポーツ実施率向上を進めていく。

問 柴田町スポーツ推進計画の進捗状況は。

教育長 中心的な役割を担う総合型地域スポーツクラブの安定運営のため支援を継続し、なお一層の体制強化を図る。総合体育館の建設に向けて、9月に自衛隊に対し部外

工事の申請を行い、令和2年度に予定地の造成工事に着手する。議会の承認が得られれば、令和3年度に業者の公募選定、令和4、5年度に実施設計し、建設に着手する計画で現在進めている。

問 競技団体の情報発信はどのような形で行っているのか。

スポーツ振興課長 独自に情報発信している団体もある。町体育協会のホームページは現在修正をかけている。各協会が行っていること

を情報発信したいと考えている。

問 運動できる施設の案内や、大会情報を盛り込んだ情報紙や公園の地図などを一覧にしては

都市建設課長 ホームページ上で、公園遊具や健康遊具などを紹介していきたい。

問 ウォーキングマップに、ポケモンGOを入れてはどうか。

副町長 ゲーム感覚の視点でも少しだけ頭の中に入れて、つくり込みに反映させていきたい。

中学校の運動部活動について、スポーツ庁のガイドライン(指針)に基づく方針を策定した市区町村が、約7割にとどまっていることが、スポーツ庁の調査でわかった。また、令和元年度6月会議で、同僚議員が中学校の部活動の実情について質問している。そこで問う。

教育長 その内容のポイントは、適切な休養日の設定などを踏まえて部活

問 町も中学校部活動方針を策定しているが、その内容のポイントは。

教育長 部活動での指導ガイドラインを實踐している町内3中学校では、ガイドラインにのっとり部活動の適切な休養日などを設定している。平日

問 策定後の活用状況は。

教育長 運動を実践し、各学校の部活動の指導、運営に関する体制を構築し、生徒のバランスのとれた健全な成長と教職員のワーク・ライフ・バランスの実現を図ることを目指している。

に少なくとも1日、土日曜日のいずれか1日以上を休養日として、週当たり2日以上以上の休養日を設定することや、夏期休業期間中などの週末は原則休養日とするとしている。また、朝練習は原則禁止とすることなど、ガイドラインを活用した部活動を行っている。学校では、毎月の活動計画及び活動実績の確認により、各部の活動内容を校長が把握している。

Q 中学校部活動方針の活用はいかに

A 適切な休養日などを設定している



舟山 彰 議員



その2 その1



良い休養がパフォーマンスをあげる♪

一般質問

問 ほとんどの公園遊具は学童用になっている。小規模保育所が増える。公園の遊び場を利用するケースが多くなっている。乳幼児対象の遊具を設置できないか。

町長 遊具を更新する際、行政区長や保護者、保育所の職員などの意見を参考に遊具を選定している。最近では小規模保育所もできているので、公園の利用者や地理的条件を加味して遊具を設置していく。

Q 公園施設の充実を



森 淑子 議員

A 安全に誰もが楽しめる公園になるよう努める



心も体も育む 公園の遊具

問 どの砂場も猫のフンで汚染されている。猫が侵入できないようなフェンスを設置してはどうか。

町長 砂場にフェンスやシートを設置しても猫の侵入は完全には防げない。定期的に砂の入れ替えを行い、お知らせ版や町ホームページを通じて、飼い主のモラルなどについて啓発していく。

問 健康遊具を増やせないか。

町長 健康志向の高まりに対応できるように、今

後も設置を検討する。

問 どの公園に設置されているか、周知のために広報しばたに掲載してはどうか。

福祉課長 検討する。

問 太陽の村に以前のよくな大型遊具を設置する考えはないか。

農政課長 子どもたちが体を動かしたり、頭を使ったりして遊べるものを考えている。建物の中で、木のおもちやで遊べるスペースも検討している。

Q 地域コミュニティの活性化は



加藤 滋 議員



A 地域訪問型の支援事業を実施する



地域交流の原点

問 町が把握している地域課題は。

町長 行政区内の組織や行事の中心として活躍しているのは、団塊の世代以上の方が中心。組織の弱体化と地域コミュニティへの参加意識が薄くなっていることが心配。28年に全行政区の地域計画で取り上げられた課題は、自然・生活環境改善や防犯・交通安全向上及び道路・側溝・公園などの整備、さらに少子高齢化・防災対策・コミュニティの希薄化・交流促進

などの課題と捉えている。この課題と捉えている。

問 地域の活性化に向けて町ができることは。

町長 行政区や小・中学校単位の地区に向き、地域活性化や地域課題解決のため、地域コミュニティ活動への支援を行うような地域訪問型の支援事業の実施を予定する。

問 地域コミュニティ活動で効果的な行事は。

まちづくり政策課長 福祉的な分野で敬老会、いこいの日。多

いのは交流でお祭り関係。地域活動での防災・防犯面への影響は。

問 防犯面への影響は。

町長 大規模な災害が発生した場合、被災者の救出や救護のためには、地域でのお互いの協働体制の確立が欠かせない。その中核となるのが自主防災組織である。防災や防犯の原点は住民一人一人のつながりや絆であり、地域コミュニティであると考えている。今後も強化に努めていく。



高藤義勝 議員

Q 警戒レベル情報はピンポイントで

A そういう状況になれば地域独自の避難を促す



活躍が期待される常設ポンプ

地球温暖化により、大雨の頻度はさらに増加すると予測されており、台風・豪雨災害による発生リスクが高まっている。本町ではこれらを踏まえ、過去の災害履歴・避難場所・避難経路などを基にハザードマップを整備作成し、全戸配布の予定となっている。さらに、気象庁発表の警戒レベル1・2を軸に、警戒レベル3・4・5に数値化された集中豪雨などに対する気象警報の他に、市町村独

自の情報も発表している。

問 常設ポンプの稼働状況は。

町長 町全体で35基設置しているが、本年7月の大雨時にポンプが不法投棄による異物を吸い込み停止した。自助・共助・公助の観点から、地域での監視の強化やモラルの向上を図るようお願いする。

問 警戒レベル情報の数値化で、本町のメール配信サービスが利用しやすくなった。登録者を

さらに増やすべきでは。出前講座の時などにメール配信のメリットを訴えて増やしていきたい。

問 警戒レベル情報はピンポイントで出すべきでは。

総務課長 地域のポイントで避難を促す場合もある。稲荷山用水路の取水操作が遠隔操作可能になったが、実例は。

問 大雨時間帯予報の、1時間前に電話して

いる。



秋本好則 議員

Q 交流人口増加の手段に柴田ファンクラブの創設を



A 次の地方創生事業に織り込んでいきたい



柴田町のファンを増やしたい!!

町は交通量や市場モニタリング調査を行った。それを基に質問する。

問 町は船岡城址公園に多額の費用で花壇整備をしているが目的は。

町長 船岡城址公園の魅力を高め、町を活気づけ愛着や誇りを育むこと。

問 人の流れはJR船岡駅から町なかへの周遊になっていない。目的に繋がっていないのでは。

町長 金曜日の通行量は船岡駅前通りの方が白石川堤よりも多かった。

わずか2日間のデータでは決め付けられない。

問 消費額の調査では消費ゼロの人が最多で平均の消費額は4千36円。県のデータでは5千300円で1千300円位低い。二丁目に合っていないのでは。

町長 観光の帰りに飲食店に寄らない結果だ。

問 県の観光データでは自然や歴史文化観光が伸び、テーマパーク型は減少している。花壇整備で人を呼ぶテーマパーク型は合わないのでは。

町長 観光客を誘客する有効な手段と考える。

町長 船岡城址公園はテーマパークと思わない。交流人口を増やす手段として柴田ファンクラブという方策がある。

問 柴田町に関心のある町内外の人が対象だが、健康ポイントなどと兼用にすれば住民サービスの向上になる。導入できないか。

町長 観光客を誘客する有効な手段と考える。

町長 地方創生事業で導入した自治体があるので、第二期の地方創生事業に織り込んでいきたい。

一般質問



佐々木裕子 議員

Q 「おもてなしの心」から、トイレの設置を

A しばた千桜橋高架下に委託費を計上



環境整備でおもてなし

問 トイレ設置の検討状況は。

町は「花のまち柴田」としてさまざまな整備とともに、歩いて楽しめるためのルートづくりなどを進めている。現在は、船岡城址公園としばた千桜橋・白石川千桜公園を結ぶ「花(桜)回廊」回遊ルートがあるが、公園利用の人からは、近くにコンビニもなくトイレが遠いなどの意見がある。30年度12月会議では、トイレ設置について検討するとの答弁があった。

町長 白石川千桜公園のトイレ整備は、河川区域内は法的制限があるため、県道とJR間のしばた千桜橋の高架下に設置を検討している。今回、補正予算でトイレ整備に関する委託費を計上した。

問 近くにコンビニもない。飲料水を買える自動販売機設置の考えは。

町長 電気設備の有無や防犯対策などの管理面、また、景観を損ねる面も考慮し、千桜橋高架下に設置できないか検討したい。

町長 千桜公園への遊具設置の考えは。

町長 白石川千桜公園のコンセプトは、美しい花園の景観を楽しむ公園としており、四季折々に花を楽しむよう魅力を高めてきた。対照的に、太陽の村は子どもたちが元気に遊ぶ冒険遊び場として整備しているので、太陽の村の方で子どもたちの遊具を充実させていきたいと考えている。



白内恵美子 議員

Q 公共施設の電力調達は、一般競争入札の実施を



A 来年4月以降に学校施設で実施したい



電力会社を選ぶ

問 平成28年の電力の完全自由化により、自治体の電力調達課題となっている。調達を一般競争入札とした場合のメリット・デメリットは。

町長 メリットは競争原理が働き価格が安くなること。デメリットは行き過ぎた価格競争により、落札業者が安定的に供給継続できるか懸念されること。

問 町内公共施設の平成30年度の電力使用量と金額は。

町長 施設の使用量は約270万誌で8千400万円、防犯灯や街灯などは3千380万円、総額1億1千780万円となる。

問 電力調達の一般競争入札を提案する。

町長 今後、一般競争入札を含め様々な調達方法の検討を進めていく。

問 岡山県真庭市では、平成30年1月に24施設の供給分の一般競争入札を実施し、落札率68%、事実をどう思うか。

財政課長 競争原理が働き何割かの削減が図られたと思う。本町でも受電施設を持つ20施設を最初に考えていきたい。

問 いつ頃、どのように検討するのか。

財政課長 20施設の中には学校9校が入っており、エアコンが完備された時点で考えていきたい。

問 一般競争入札をいつ頃行うのか。

財政課長 4月以降に行いたい。



安部俊三 議員

Q 柴田小学校は、
槻木小学校との
統合を検討すべき

A 当面は、小規模校として
存続させていく



先生と楽しく

問 柴田小学校（全児童
数41人）の現状をど
う捉えているのか。

教育長 昨年同様、2学年と
3学年、4学年と5
学年が複式学級となるの
で、県と町の教員を加配
し複式学級を解消した。

来年度以降、令和7年度
までの就学予定者は、4
人から10人で推移し、全
児童数も40人前後で推移
する見込みである。複式
学級が2クラスの状況が
継続するが、教員の加配
により複式学級を解消し、

全学年1クラスを継続す
る見込みである。

問 柴田小学校は、槻木
小学校との統合を檢
討すべき時期と認識し、
積極的に取り組むべきで
はないか。

教育長 保護者や地域住民か
ら柴田小学校の存続
の声が大きいです。また
保護者からきめ細やかな
教育への評価も高いこと
などから、当面は、1学
年1クラスの小規模校と
して存続させていく考え
である。今後も児童数の

推移を見守り、子どもや
保護者の声に耳を傾け、
地域住民の理解と協力を
得ながら、地域に応じた
学校のあり方について檢
討を続けていく。

問 保護者や地域代表者
学校関係者でつくる
学校適性規模検討委員会
といった協議機関を設け
一歩踏み出すとの考えは
持っていないか。

教育長 地域から統合とい
う声が出た場合には、
前向きにその声を受け止
めて行動していく。

関する法律の概要では、
国民保健の向上に寄与す
るため、歯科疾患の予防
等による口腔の健康の保
持の推進に関する施策を
総合的に推進するとある。
歯科口腔保健の推進は、
予防に特化する取り組み
が必要で、生活習慣病と
の関係にも大きく影響す
るとされる。また、口か
ら物を食べることは、咀
嚼による、免疫力の向上
や脳の活性化にもつなが
り、認知症の予防など健

康寿命も延びると言われ
ている。

問 今後の取り組みの方
向は。

町長 関係機関と連携し、
歯科検診の機会の確
保や歯周病予防などの普
及啓発に努めていく。

問 歯と口腔問題をもつ
とPRしていく考え
はないのか。

健康推進課長 健診の通知を出して
いるが、受診率として
は1割にも満たない。

問 栗原市は歯と口腔の
健康づくり推進条例

を制定し取り組んでいる
が、条例を制定する考え
はないのか。

健康推進課長 町で作ることは考え
ていない。

問 県歯科医師会は学校
での歯科健診時に、
虐待やネグレクトを早期
発見する取り組みをして
いるが、そのような報告
はあったか。

子ども家庭課長 今まで報告はない。
柴田町要保護児童対
策地域協議会で、医療関
係・歯科医師と連携を確
認している。

Q 本町の
歯科口腔保健の
取り組みは



森 裕樹 議員

A 普及啓発に努めていく



歯科口腔保健で健康推進!!

一般質問

10月から幼児教育・保育の無償化が実施される。小規模保育施設や民間保育所が増えるが、待機児童は解消されるのか問う。

問 保育士不足は改善されるのか。

町長 様々な保育施設の確保の施策が講じられているが、保育士不足は全国で課題となっている。幼児教育の無償化は子育て世代への教育費の負担軽減策であり、残念ながら保育士不足の解消にはつながらない。

Q 幼児教育・保育の無償化で待機児童は減少するか



広沢 真 議員

A 来年開設の民間保育所が受け皿となる



保育士の増員と待機児童の受け皿の確保を

問 保育環境を整えることに自治体は関与できるのか。

町長 児童福祉法に定める施設は、それぞれの設置基準に基づいて設置されており、その中で保育環境を整えていく。施設の整備・運営については、毎年の指導監査で設置基準や保育指針に基づき指導していく。特に町では、保育所に地域型保育施設支援担当者を各1名配置し、現地での保育指導を行っている。

問 潜在的な待機児童が顕在化し、大幅に増えるのではないか。

町長 待機児童は、27年44人、30年29人、31年49人で推移している。この間、7施設94人の定員を新たに確保したが解消には至っていない。潜在的な待機児童の見直しは、現時点で困難だ。来年開設の民間保育所を支援し、受け皿を増やしていく。

産後ケア事業は、育児の不安を解消するためのもので、出産後の母親が産科医療機関や助産院に宿泊して、心身のサポートや育児指導を受けるものである。

問 産後の母子に専門的なケアを提供する「産後ケア事業」の推進をどうするか。

町長 出産から間もない時期は、産婦が身体を休ませ、母子の愛着形成に大切な時期である。産後の心身の回復や授乳指

Q 産後ケア事業の推進を



有賀光子 議員

A 育児ヘルプサービスの利用を紹介している



産後ママを包括的に支援

導、新生児の世話、心理相談を行う産後ケア事業が、病院、診療所などで実施されるようになった。本町では、育児や家事を手伝ってくれる人がいない方に、育児ヘルプサービスなどの利用について紹介している。今後、さらに周知に努める。

問 国の制度を利用して、いる県内自治体は、仙台市、名取市、岩沼市、加美町となっている。6月からは、山元町でもスズキ病院に頼み、実施を

始めた。本町でもスズキ病院に頼むことができないか。

健康推進課長 本町では、産後支援が必要な方は、年間数人であり、保健師や出産した病院が強くかかわって支援している。町の保健師が医療機関と連携をして、早めの新生児訪問などで対応していく。また、産後検診と産婦ケアについて、県医師会からは、体制を整えたいので少しお待ちくださいとの回答がある。



安藤義憲 議員

Q 登下校時の道路の安全対策は

A 関係機関と連携し、通学路の安全対策に取り組む



子どもたちの安全をしっかりと確保

問 西船迫四丁目から本船迫下町に至る交差点に、一時停止の標識を設置できないか。

町長 一時停止の標識など交通を規制する権限は町にない。大河原警察署に要望を伝え、町と警察で現地を確認し、県公安委員会が設置の必要性を判断する。

問 交差点を含め、危険箇所と認識されている場所の指導と対処は。警察、交通指導隊等が学校に向き、実

際、合同点検として定期的と同じ箇所やほかの場所について確認している。学校では、危険箇所の点検を行いながら、児童生徒に指導している。

問 西船迫6号公園前の道路は、地盤沈下が激しく、近くの住宅に影響を及ぼしている。その対策は。

都市建設課長 歩道部分は修繕した。車道部分は、来年度以降調査する。

問 通学路の危険要注意箇所は、6小学校区に45力所ある。教育委員会は、その内容をどのように思っているのか。

町は、合同点検として定期的と同じ箇所やほかの場所について確認している。学校では、危険箇所の点検を行いながら、児童生徒に指導している。

教育総務課長 町は、合同点検として定期的と同じ箇所やほかの場所について確認している。学校では、危険箇所の点検を行いながら、児童生徒に指導している。

問 北船岡三丁目付近は、人通りが少なく街灯も少ない。改善することもできないか。

まちづくり政策課長 街灯設置の目安は、35〜50戸をひとつの基準としている。幹線道路は町で、生活道路は行政区にお願いしている。

掲載した質問のほかに、次の項目がありました。

吉田和夫 議員

問 県のアプリ「ウォーキングプラス15推進事業」を活用しては。

答 *aruku& (あるくと) の活用方法について、説明を行い、アプリの普及促進に努める。

舟山 彰 議員

問 人工知能 (AI) で町道の路面破損診断を。

答 町は、舗装状況を点検する路面性状調査を、業者委託により実施している。

問 協賛広告収入の活用を。

答 ふるさと柴田応援基金を主として活用していきたい。

加藤 滋 議員

問 容器包装プラスチックの収集日は、増やせないか。

答 決められた中で収集の日を決めている。検討しているが、増やすまでには至っていない。

秋本好則 議員

問 仙南唯一の本格的茶室・如心庵は地震で傾いた。壁に亀裂が出る前に改修すべきでは。

答 如心庵の改修は多額の費用がかかるため、町全体の優先順位を付けて改修する。

問 小中学校にエアコンが付くが、使用電力量と電気代の増加分は。また、省エネの方策は。

答 使用量は1.5倍に。電気代は2千万円増の4千500万円で1.8倍。起動時刻を変えて節電。

白内恵美子 議員

問 持続可能性の判断基準となる「新国富指標」を活用し、持続可能なまちづくりを。

答 全国の自治体がデータを使いこなせる状況になった時点で、活用の有効性を考えていく。

問 令和2年4月1日から会計年度任用職員制度が施行となるが、導入準備の進捗状況は。

答 条例改正20本、規則等改正25本は最終精査を行っており、12月会議に上程の予定。

問 子どもの貧困対策は、「シリーズ・子どもの貧困」の枠組みを使って全職員が議論を。

答 縦割りの組織体制のため、全体議論は物理的・時間的・政策形成力において現実的でない。

有賀光子 議員

問 5月24日、食品ロス削減推進法が成立した。町の食品ロス削減に向けた取り組みは。

答 商工会などに働きかけ、店舗での削減をお願いする。また、町民の理解の浸透に取り組む。

* aruku& (あるくと) =歩いてポイントを貯め、地域の名産品が当たるウォーキングアプリ。

総務

交通安全施設の整備を

■調査内容

- ①柴田町まちづくり推進センター（ゆる.ぷら）の運営状況と今後の方針
- ②宮城県の移住定住政策及び支援策（行政視察）
- ③柴田町の交通安全対策（交通安全施設関係）

■調査結果

《まちづくり政策課》

- 柴田町まちづくり推進センター（ゆる.ぷら）の運営に当たっては、利用者や登録団体から幅広く意見を聞く場を設けるなどスムーズな業務運営に努めること。
- 交通安全施設は危険度の高い箇所を優先し、整備を進められたい。



常任委員会レポート

各常任委員会では、法令に基づき各課の仕事を調査しています。

●総務常任委員会

令和元年6月18日～19日

●文教厚生常任委員会

令和元年6月20日

令和元年7月23日～25日

●産業建設常任委員会

令和元年6月13日・7月17日



産建

柴田町町営住宅の 現況と課題

■調査内容

- ①町営住宅の現況と課題
- ②都市計画マスタープラン及び立地適正化計画（大崎市視察）

■調査結果

《都市建設課》

- 町営住宅敷地内の違法駐車、放置自動車の対策をすること。
- 北船岡町営住宅5号棟建築工事は安全管理に努め、工事を進めること。



文教

通学路の安全確保と 防犯対策

■調査内容

- ①しばたの郷土館の視察
- ②発達障害者支援施設（アスム療育・研修センター）視察
- ③健康増進・介護予防の取り組み
- ④小学校通学路の状況

■調査結果

《福祉課》

- アスム療育・研修センターと連携を進められたい。
- コミュニケーション麻雀、健康麻雀は健康寿命の延伸などが見込めることから社会福祉協議会とともに普及に努められたい。

《教育総務課》

- 通学路の安全確保と防犯対策を関係各課と連携し推し進めること。



あなたの一言



の まち かず し
野町 和志 さん
(槻木中学校 3年生)

○今、がんばっていることとは？

学校全体で地域貢献に取り組んでいます。各地区で、夏祭りの手伝いや運動会の司会、敬老会の手伝いや「ミ拾いなび」いろいろなボランティアをしています。小学校の廃品回収の手伝いもします。

「メタセコイアの奇跡」光り輝け槻木駅」では4人くらいで「ニューソーラン節を踊りました。

○地域貢献をするようになったきっかけは？

小さい頃から、見守りなどでお世話になったので、恩返しです。

○柴田町で好きなこととは？

ライトアップされたメタセコイアがきれいでいいなと思います。

○こんな町になっほしいですか？

今のままでも良いところなので景観などを守ってほしいです。「桜まつり」や「メタセコイアの奇跡」も好きですが、新しい風も入れてもらいたいと思います。



中学生は町の防災訓練にも参加しています。地区のイベントにも積極的に参加しようと思います。頼もしく思います。

未来へ向けて

表紙について



10月19日(土) 船岡小学校
小学校最後の音楽発表会。6年生110人が明るくパワフルな演奏で会場を盛り上げました。

◆編集後記◆

議会政策サイクル始まる

9月会議から、議案審議方法や一般質問の日程変更、総括質疑の質疑回数の変更などが行われました。さらに決算に係る議員問討議を行い、議会政策サイクルの取り組みを始めました。一歩ずつではありますが、議会改革に取り組んでいます。詳しくは紙面をご覧ください。
(平間奈緒美)

議会広報常任委員会

- | | | | |
|------|-------|----|-------|
| 委員長 | 森 淑子 | 委員 | 平間 幸弘 |
| 副委員長 | 加藤 滋 | 委員 | 吉田 和夫 |
| 委員 | 森 裕樹 | 委員 | 平間奈緒美 |
| 委員 | 安藤 義憲 | | |

ぜひ、議会の傍聴を!!

お待ちしております!

12月会議は

12月2日(月) 午前9時30分開会予定

一般質問は

12月3日(火)・4日(水)・5日(木)の予定

※詳しくは町議会事務局(☎55-2136)へお問い合わせください。

町ホームページ 本会議審議等結果を掲載 各種会議の出欠状況

町ホームページ内、「柴田町議会」の中の「議会のうごき」に、議員(委員)の出欠状況も掲載しています。

柴田町議会

検索

柴田町議会のホームページもご覧ください

このしばた議会だより166号は、約16,000部作成しています。1部当たりの経費は約44円です。